

価値創造プロセス

中期経営計画
(2023年度～2027年度)
▶▶ P15～16へ

スマートメーターを中核としつつ、エネルギー・ソリューションの拡大により
安定的な収益基盤を構築するとともに、社会の脱炭素化へ貢献し持続的な
成長をめざす。

2027年度
ROEイメージ
8%以上

大崎電気グループビジョン

Global Energy Solution Leader

エネルギー・ソリューションの技術を通じて社会、環境、企業の持続的な発展に貢献

経営資源

グループインフラ

日本国内および
世界各地に製造拠点・
営業拠点を展開

財務資本

総資産：932億円
純資産：586億円

社会・関係資本

国内外電力会社との
密接な関係
パートナー企業との連携

技術力

計測制御技術

人的資本

グローバル従業員数：
2,813人

グループ成長戦略：成長の3つの柱 ▶▶ P17～24へ

- 1 スマートメーターを活用した付加価値創出、
エネルギー・ソリューションの拡大
- 2 コアとなる新製品・新事業の創出
- 3 利益を重視したグローバル成長

グループ経営基盤の強化 ▶▶ P25～49へ

- グループ人材育成・活用の強化
- グループリスク管理の強化
- 財務体質の強化および経営資源の最適な配分
- サステナビリティ対応の推進

価値観の共有

- 大崎電気グループとして最も大切な価値観を明確化し、
グループ全体で共有

ステークホルダーに提供する価値

お客さま
環境負荷の低減に
貢献する製品・
サービスの提供

地域社会
持続可能な
まちづくりへの貢献

株主・投資家
安定的な株主還元

従業員
多様な職場づくり、
発想豊かな人材の育成

サプライチェーン
人権に配慮した
公平・公正な取引

サステナビリティ実現に
向けてのマテリアリティ
(重要課題)

▶▶ P27～32へ

環境負荷の低減

- スマートメーターによる貢献
- 脱炭素ソリューションの推進
- 研究開発の推進
- 自社拠点での温室効果ガス排出量の削減



持続可能なまちづくりへの貢献

- スマートメーターを活用した付加価値創出
- 業務省人化を実現するスマートビルディングシステムの推進
- パートナーと連携した取り組み
- グローバルな電力インフラへの貢献



人権の尊重

- 人権に関する国際規範の支持・尊重
- 人権侵害の防止



多様性を認め合う職場づくり、 課題解決に貢献する人材の育成

- 互いの違いを認め合い、多様性を活かす職場環境の整備
- 発想豊かで高いモラルを持つ人材の育成
- 健康経営の推進



ガバナンス体制の強化

- コーポレート・ガバナンスの強化
- リスクマネジメント
- コンプライアンス

